

平成27年度 第3回雁屋北民間保育園への継承に関する意見聴取会

(議事録概要)

事務局 子ども政策課

- 開催日時 平成28年 2月29日(月) 午後6時～
- 開催場所 なわてすみれ園ホール
- 出席者 11名 傍聴者4名 事務局5名

会議の経過

- ・ 開会
- 1. 保護者アンケートについて
- 2. 来年度の児童受け入れ体制、職員配置、保育内容等について
- 3. 覚書の確認について
- 4. 子育て総合支援センター、児童発達支援センターとの連携について
- 5. その他
- ・ 閉会

案件の概要

1. 保護者アンケートについて

◇アンケート結果提示し説明 (P1～P2)

- ・ おおむね満足という結果
- ・ なわてすみれ園より

紙パンツのウンチの処理について、今は新聞紙でくるむようにしていますが、夏場の対応を、また考えていきたいと思えます。

絵本の貸し出しについて、保護者のご希望があり、開始しました。

小さいことですが、家庭の子育てに役立てていただけるサポートができたらいいなと考えています。これからも保護者の意見を聞いていきたいと思っています。

2. 来年度の児童受け入れ体制、職員配置、保育内容等について

◇子ども政策課より資料説明 (P3 平成28年度 なわてすみれ園の人員体制)

◇なわてすみれ園より資料説明

### ・年間予定について

平成 27 年度に行った行事は行っていく予定です。

それに加え平成 28 年度はすみれ保育園との交流行事を増やす予定です。

4 月	交通安全教室
6 月	電車遠足

等

また、外部交流についても、保護者からよい評価をいただいていることもあり、進めていきます。

四條畷荘	もちつき、節分の行事への招待や、運動会、発表会後に、一連の演目を見ていただくということを、予定しています。
社会福祉法人ハニコウム園芸	現在お花を持ってきてもらっています。今後、交流を進めていきたいと思っており、協議中です。
すみれ会 (雁屋地区の独居老人の会)	毎年、公民館で行っている交流を続けます。

その他として、スイミングは今年度 2 回でしたが、来年度は 3 回予定しています。

### ・保育課程について

国が定めている保育所保育指針の中で「施設長の責任のもとで編成し、これに従って毎月の保育に取り組んでいきなさい」という内容が決まっています。

保育園で、具体的に保育を進めるにあたって、大事にしていくことをまとめたものになります。

上・中・下の 3 つの太枠で区切られており、上・中に関しては保育内容の具体的な目標や、大切にポイントを書き添えており、下の部分には、主に職員が保育するにあたり注意していくことを書いています。

具体的には、1 番上の枠には保育理念・保育指針・保育目標を記載しています。

保育理念	なわてすみれ園が究極的に目指すところの目標であり、北出福祉会の目指すところと同じもの
保育方針	具体的に日々保育を進めるうえで、こういうことを大切にしましょう、という指針
保育目標	我々が育てたいと思う、子どものイメージ像

保育指針、保育目標に関しては、南野西育所で取り入れられていたものをそのまま入れて

います。また、それぞれの年齢で大切にしていけるクラスの保育目標を記載しています。

真ん中の枠は最も大切な部分です。保育を、国で決めたいいくつかの項目に分け、我々がそれに即して取り組んでいきます。養護と教育、それに最近は食育の項目が加わっています。保育課程は、地域の実情に応じて、その地域の子どもたちにどういったことが必要か考えながら作成することになっています。僕自身は1年経たない状態で、地域の子どもの状態は十分に把握できていませんが、保育園の子どもを見ていると、4、5歳児で何かをやり遂げる力や、自分を認める力が弱いかなという印象を受けました。何かに挑戦して「やった〜!」と感じる心を育てたいな、ということで、5歳児の人間関係の欄に「集団でひとつの目標に挑戦し、達成することで仲間意識と集団活動の心地よさを感じる」という項目を入れています。

子どもたちに必要なことは何かをおさえながら作成しているので、おそらく2,3年取り組む中で、また検討していかなければならないと考えています。

次に、一番下の部分には、保育園での保育を管理していく上で、注意していくことをあげています。いま、保育ソーシャルワークといって、保育者が、虐待の対応や子育て支援、保護者がしんどいときには保護者の話を聞いたりしていきましょう、という事をいわれています。なわてすみれ園においても、子どもだけを支援するのではなく、家族全体を含めて見ていく、家族システム視点に移していきたいと思っています。

また、北出福祉会の法人の特徴としまして、地域活動や地域貢献等、地域に密着した運営を非常に大事にしています。各種行事、夏祭りや運動会に地域の方を招待したり、地域の福祉団体との交流を進めています。

また、今年度から大阪府の6,7割の社会福祉法人が生活困窮者支援をしており、北出福祉会も参加しております。例えば「明日食べるご飯がなく生活保護の申請が間に合わない」「緊急で病院にいきたいけれど保険証がなく行けない」という方に現物支給や、サービスの対価を支払うという事業をしています。

小学校への接続もいわれています。よりスムーズに小学校へ行けるように、子どもたちの様子を見ながら担任と相談して、つまずきやすい点をあげ活動につなげていきます。

その時々のお園にいる子どもの状態を見ながら、必要なことをしていくことを大前提に、11ヵ月間の中で職員と話しながらできたものです。各クラスの担任がこれに基づき、日々の活動を考え、その中で迷うことがあれば、これに戻りながら進めていくことになります。

#### ◇10月の後半以降の行事の取組みについて、なわてすみれ園職員・派遣職員より報告

##### ・発表会（12月）

開始前に練習風景をスライドで見てもらいました。下クラスの子どもたちは、本番泣いてしまい発表できないことがあります。練習風景を見もらうことで普段の姿をわかってもらえ、アンケートでも好評でした。椅子を多く用意しましたが、お客さんが入りきらないことになったので、来年度はゴザを敷いて座って見ってもらう場所を多くしたほうがい

いかと、反省が出ました。発表している子どもの保護者の優先席を設け、よく見えたと好評でした。

#### ・もちつき（12月）

0、1歳児は小さい杵と臼で、2～5歳児は園庭で大きな臼と杵で、餅をつきました。小さい子も餅をつけたことが好評でした。四條畷荘の職員さんと利用者さんが交流で来て下さいましたが、初めてでうまくいかないこともあったので来年に活かしていきたいです。

#### ・クリスマス会（12月）

四條畷荘の職員さんがサンタになって下さいました。職員がサンタになると、バレないようにサンタとの交流が短めでしたが、今回はゆっくり交流できました。

また、クッキングの一環で、5歳児がスポンジケーキにクリームを塗りお菓子やフルーツでデコレーションして、おやつ時間に各クラスに切り分けて出しました。飾りのお菓子等も自分たちでスーパーに買い出しに行きました。

#### ・節分（2月）

これも四條畷荘の職員さんに来ていただき、なわてすみれ園の職員とともに鬼になっていただきました。恒例の行事で、子どもたちは1月からソワソワしています。大きい子達は園庭で、小さい子は危ないので部屋にいますが、鬼が来るとみんな必死で逃げ、大騒ぎになります。少し怖すぎたりもしますが、映像のように楽しく行っています。地域の方にも開放しているのですが、インフルエンザが数件出ていたため今回は遠慮していただきました。

#### ・室内開放（1，2月）

地域の方に同年齢のクラスに入ってもらう予定でしたが、インフルエンザ流行のため中止になりました。

#### ・個人懇談

希望者と、すみれ組（5歳児）就学前ということで全員を対象に行いました。普段なかなかお話できない保護者と、子どもの成長をともに喜んだり、来年度にむけてのお話などできました。

#### ・3月の予定

ひな祭り

お別れ遠足・・・3～5歳で京都水族館へ行きます。保護者にもお手伝いを募ったところ、数名来てくださいます。

お別れ会

卒園式・・・19日、土曜日に行います。土曜日なので在園児としては、4歳児のみ参加

します。

・ファンフレンズプログラムについて

12月から2月まで、4歳児が受けました。1クール8回で、5歳児の4月から、2クール目を受けます。今年度2名の職員がファシリテーターの資格を取り、来年度も続けていきます。

担任より

初めてのファンフレンズで、子どもたちは毎回楽しみに参加していました。支援センターの方や、普段関わりの少ない職員と関わり、いろんな話を聞いてもらえるということで、自分の気持ちを表現できる機会になりました。様々な気持ちが出てくる子もいましたが、プログラムを進める中で気持ちを切り替えたり、落ち着けるようになってきている印象を受けました。普段の保育の中でファンフレンズの内容を取り入れる中で、気持ちの切り替えがしやすくなったり、自分の気持ちを冷静に見られるようになったり、子どもの姿に変化が見られました。来年度、続けていくのが楽しみです。

・2月19日、府民共済が行っている、生活習慣を教えていただける活動にすみれ保育園の3～5歳児と参加し、スライド紙芝居と生活習慣を学んだ後に、体操の仕方、体の使い方を教えてもらいました。

派遣職員よりまとめ

4月、子どもたちも職員も戸惑いが多いながらも、なるべく早く落ち着けるよう、日々の繰り返しを大切に、みんなで頑張ってやってきました。スライドで見てもらったように、子ども達も職員も嬉しい顔をしています。全体が落ち着いてきたことを、とても嬉しく思います。

園長先生は話を聞いて下さるし、また新しい提案をして下さります。南野西保育所の今までの保育と新しい取り組みがうまく融合できたのではないかと思います。北出福社会としての方針はありますが、トップダウンばかりでなく、ボトムアップで職員の意見も吸いあげながら色々な取り組みをされ、柔軟に対応されていると感じます。来年度の案もきっちり出来ているので、安心して色々なことに取り組んでいけるのではないかと思います。

座長：大阪府の社会福祉協議会の生活困窮者支援について  
今年度から事業が広がってきているのですか？

なわてすみれ園：ここ10年くらいは高齢者中心でしたが、平成27年度から障がい部門・保育部門にわかれての事業がスタートしています。当園も資金を出してその事業に参加しています。

座長：最近子どもの貧困が問題になっていますが、そのような事例はありますか？

か？

事務局：何をもって子どもの貧困と定義付けるのか難しいですが、家庭での子育て力の低下が他園も含め、現在の課題となっていると思うので、それに対する保護者対応が、大きな意味での生活困窮や貧困の対策につながっているのではないかと思います。

座長：支援センターではそのような事例はありますか？

事務局：事例は年間 3～4 件出てきます。社会貢献事業をされていると知り、非常に有りがたく思います。失業してお金がない、母が急に倒れて働けずお金がない、明日食べるご飯がない等の相談を受けても支援センターではお金を出す力はありませんが、社会貢献事業では、2 週間は生活できる 10 万円を現物支給していただけます。生活困窮者にとって力強いサービスですので今後とも期待しています。

座長：積極的な周知はされていますか？

北出福祉会：今年から始まったこともあり、高齢施設ほど積極的な周知は出来ていません。またどのようにしていくのかということが、まだわかりません。

事務局：社会福祉協議会から「社会福祉法人で子どもについての事業を」という強い希望があり、保育所も取り組んでいこうと園長会で働きかけて受けていただいたのが去年で、具体的な事業や運営をどうするかという話は、まだ始まったところです。

なわてすみれ園：「園だより」で保護者に伝え、近隣に声をかけてもらうなど地道に知らせていこうと思います。

### 3. 覚書の確認について

◇子ども政策課より資料説明 (P4)

座長：委員の皆様ご意見はありませんか？よろしいですか？

では、この覚書にて、市と北出福祉会とのお約束といたしたいと思います。

### 4. 子育て支援センター、児童発達支援センターとの連携について

◇児童発達支援センター施設長より資料説明 (P5)

なわてすみれ園と児童発達支援センターとの交流について、

◇子育て総合支援センター施設長より説明

4 月になわてすみれ園の隣に移転させていただきます。

おもちゃの貸し出し事業「子育てぼけっと」で、団体貸し出しをしているのでなわてすれ

園さんでもぜひご利用いただければと思います。

親御さんにつきましても、なわてファミリーサポートセンターという有償サービスや、子育て相談等させていただきます。

また、先ほどのお話にありましたように、なわてすみれ園さんは、保育のみならず社会福祉的観点を多く取り入れて下さっているので、今後、会議等連携していきやすいかと思えます。

#### ◇施設整備ハード面について

事務局：児童発達支援センターと子育て総合支援センターの複合施設は「すてっぷ★なわて」という名称になります。

当初、なわてすみれ園さんの駐車場について、南野西保育所の解体後に、今年度の早いうちに、という話でしたが、結局「すてっぷなわて」の建物が出来てから外交工事にあわせて、今年度の最後に整備となってしまいましたことを、お詫び申し上げます。

実際の形としまして、6台・6台の12台の駐車場を整備させていただきます。うち2台は車椅子用利用者むけのやや広いものです。朝は保育園の保護者が送ってこられる時に利用、10時以降は児童発達支援センターの利用者、その後お迎え時には保育園の方、とうまく時間をずらして使えるように話を進めていきたいと思えます。

座長：児童発達支援センターとすずらん保育園とは、交流をやめるということですか？

事務局：すずらん保育園さんとは少し距離が離れてしまっていますが、交流を続けていく方向で、回数や方法等検討していきたいと思っています。

座長：確認しておきたいのですが、なわてすみれ園は認定子ども園への移行について考えておられますか？

北出福祉会：考えています。

座長：そうですか。四條畷市全体としても移行予定があるようですね。

事務局：平成29年度開始を目指されているところがいくつかあると聞いています。

座長：それでは、保育課程や、内容等も変わっていきますね。違う文化があわさっていく感じですので実践も難しいところがあると思えます。

## 5. その他

#### ◇今後のスケジュール（事務局より）

今年度の「雁屋北民間保育園への継承に関する意見聴取会」は今回をもち終了といたします。平成28年度以降、6月と12月ごろに保育内容等について保護者アンケートをとり、結果を見ながら、市となわてすみれ園で意見交換を行い、継承に関する検証を実施してい

く予定です。

座長：継承について、丸2年かけてかなり丁寧に出来たかと思います。皆さんのご尽力のおかげで、公立がやってきた保育の質を担保しながら、より発展させていくという方向性も出てきているようなので期待しております。